

平成 23 年度 大垣市障害者計画・障害福祉計画策定評価委員会 第3回

開 催 日:平成 24 年 2 月 24 日(金)

開催時間:13:30～

場 所:総合福祉会館 4 階第 2 研修室

事務局	あいさつ 議事導入
委員長	あいさつ 議事進行
事務局	・パブリックコメントを実施した。4 件の意見があった。 ・修正箇所の説明
委員長	ありがとうございます。只今、事務局よりご説明いただきました内容や、議題につきまして、ご意見、ご質問等がありましたらご発言願います。
委 員	103p で人権のところの再掲が削除されているがなぜか。
事務局	掲出がかぶっているので削除しました。
委 員	41p 市内循環バスについて、難しいかと思いますが今後も検討いただきたい。 44p 障がい者は一人では避難できない。地域で障がい者の実態がつかめていない。これはどうしていくのか。 47p 災害などへの対応は、地域がしなければいけない。地域の責任でリーダーシップをとってやっとしていこうとしている。 80p 授産販売店の設置は良いことだが、各地区のお祭りなどでの販売も検討してはどうか。 97p 福祉教育の推進 具体的に福祉分野に興味を持ってもらえるような教育も必要ではないか。 104p 大垣市防災リーダーの養成については、養成しても活躍する場がない。防災士の資格をとっただけではいけない。 73p 日常の暮らし・・・のところで、グループホーム・ケアホームの設立については簡単ではない。かわなみについても親の会の皆さんがご苦労されたと聞いている。
委 員	ありがとうございます。 それでは事務局からご回答お願いします。
事務局	41p については、先進地等を確認しながら、課題、システム等を研究したいと考えております。 44p については、要援護者台帳を活用することとしておりますが、障がい者の方の登録について、当事者団体の皆さんなどを通じて、登

	録をお願いしていききたいと存じます。
委 員	マンションやアパートは個人的なつながりが無い。そうしたところをどうするかが問題である。
事務局	施策のなかに文章として何か明記していきたい。（課長）
事務局	47p について、東北の事例を見ても、各地区、自治会との連携が重要であり、大垣市でも自治会でも防災訓練が行われていますので、そういったところへの参加を促すなど、関係課との連携を図っていかなければならないと考えています。
委 員	地域との連携を密にしていっていただかないといけないですね。
事務局	80p について、授産製品等販売促進連絡会をつくっている。自治会等のイベントでの販売などについても促していきたい。 97p について、福祉分野への関心を持っていただくことが重要だと考えています。 99p について、バリアフリー化は大きな課題だが、今まで以上に進んでいくように関係課とも連携をして取組んで参りたい。
委 員	今の件ですが、車道と歩道をフラットにしてしまうと分からなくなってしまう。全国の盲人協会では、2センチの段差をつけて欲しいとっている。
委 員	北口線は、実際に視覚と車椅子の方に来ていただいて調整をした。
委 員	国交省での取り決めがあると思います。
委 員	防災の点と市民の障がいへの理解のために、視覚障害者が参加できる、障害者が参加できる防災訓練をしてはどうか。
事務局	各地区でいろんなやり方があるが、現実対応は、各地域で訓練をしていただければとも思います。防災部局とも連携をして参りたいと存じます。
委 員	職場でもやらなければいけないと思う。
事務局	104p について、ケアホームについて、苦労して設立されたということだが、当事者の皆さんの負担が少しでも軽くなるようにしていければと思います。
委員長	いろんな可能性を考えていただきたいと思います。
委 員	私も防災士の資格を取って、NPOをつくり自治会等について防災についての説明を行ったりしている。大垣市防災支援ネットワークと

	いいます。
委員長	他にご意見ございますか。
事務局	今回の修正については、委員長に一任ということでよろしいか。
委 員	異議なし
事務局	それでは、修正後委員長に報告をさせていただこうと思います。
委員長	それでは、これで本日の議題を終了いたします。長時間に渡り、ご審議いただきましてありがとうございました。これにて、第2回の策定評価委員会を閉会致します。